

2012年度 大阪経済法科大学 春学期末試験答案用紙

【問題 1】 次の資料に基づき、純粋先入先出法により完成品原価、完成品単位原価（月初仕掛品完成分と当月投入完成分）、月末仕掛品原価を求めなさい。
[資料]

① 当月の生産データ

月 初 仕 掛 品	800 個	(0.5)
当 月 投 入	5,000 個	
合 計	5,800 個	
月 末 仕 掛 品	1,000 個	(0.2)
完 成 品	4,800 個	

※（ ）内の数値は加工進捗度を示す。

② 当月の原価データ

	直接材料費	加工費	合 計
月 初 仕 掛 品 原 価	¥840,000	¥696,000	¥1,536,000
当 月 投 入 原 価	¥5,310,000	¥8,556,000	¥13,866,000

完 成 品 原 価	円
完 成 品 単 位 原 価 (月初仕掛品完成分)	円
完 成 品 単 位 原 価 (当月投入完成分)	円
月 末 仕 掛 品 原 価	円

【問題 2】 次の資料に基づき、完成品原価、完成品単位原価、月末仕掛品原価を求めなさい。月末仕掛品への原価配分方法は平均法によること。
[資料]

① 当月の生産データ

月 初 仕 掛 品	800kg	(0.4)
当 月 投 入	5,200kg	
合 計	6,000kg	
正 常 減 損	400 個	
月 末 仕 掛 品	1,600 個	(0.6)
完 成 品	4,000 個	

※（ ）内の数値は加工進捗度を示している。なお、材料はすべて工程の始点で投入された。

② 当月の原価データ

	直接材料費	加工費	合 計
月 初 仕 掛 品 原 価	¥272,000	¥384,000	¥656,000
当 月 投 入 原 価	¥1,811,200	¥6,014,400	¥7,825,600

③ 正常減損は工程を通じて平均的に発生している。非度外視法により計算すること。

完 成 品 原 価	円
完 成 品 単 位 原 価	円
月 末 仕 掛 品 原 価	円

科 目	教員名	学籍番号	氏 名	採点
33441 原価計算	2062 山根 陽一	入学年度 E・L 番		

(裏面使用のときはこの位置を上段にして記入すること)

【問題3】当社では、全原価要素工程別原価計算によって製品原価計算を行っている。また、月末仕掛品原価は平均法によって計算している。次の資料に基づいて、非累加法（工程を単一とみなす計算方法）により最終完成品原価、最終完成品単位原価および月末仕掛品原価を計算しなさい。

[資料]

① 当月の生産データ

第 1 工 程			第 2 工 程		
月 初 仕 掛 品	250 個	(40%)	月 初 仕 掛 品	350 個	(80%)
当 月 投 入	1,970 個		当 月 投 入	1,900 個	
合 計	2,220 個		合 計	2,250 個	
正 常 仕 損	一個		正 常 仕 損	50 個	(100%)
月 末 仕 掛 品	320 個	(75%)	月 末 仕 掛 品	200 個	(50%)
完 成 品	1,900 個		完 成 品	2,000 個	

② 当月の原価データ

	第1工程	第2工程
月 初 仕 掛 品 原 価		
材料費	¥177,720	¥246,400
第1工程加工費	¥52,000	¥182,960
第2工程加工費	¥－	¥155,000
当 月 投 入 原 価		
材料費	¥1,426,280	¥－
第1工程加工費	¥1,020,000	¥－
第2工程加工費	¥－	¥748,000

- ※ 材料は、第1工程の視点ですべて投入される。また、第1工程の完成品はすべて、ただちに第2工程の始点に投入される。
- ※ 生産データの（ ）内の数値は、加工進捗度および仕損の発生点を示す。
- ※ 正常仕損費の負担は、正常仕損の発生点によって判断している。

	最 終 完 成 品 原 価	最 終 完 成 品 単 位 原 価	月 末 仕 掛 品 原 価
第 1 工 程 費	円	円	円
第 2 工 程 費	円	円	円
合 計	円	円	円